

農業の振興 問 農政課 ☎44-0729 FAX43-3239

## 東京オリ・パラへの食材提供に向け 下妻の梨 県GAP認証を受ける

5月30日、下妻市果樹組合連合会は、2020東京オリンピック・パラリンピックの農産物(食品)調達基準となっているGAP(農業生産工程管理)の一つ、県GAP第三者確認制度確認証の交付を受けました。

交付を受けた大塚武雄会長は「調達基準はクリアしたので、東京オリンピック・パラリンピックで下妻の梨が提供されるように、これからも国内外へ向けた攻めの農業を続けていきたい」と意気込みを話していました。



交付を受けた下妻市果樹組合連合会および関係者

## 温かい善意ありがとうございます

### ■下妻市アマチュアゴルフ連盟から寄付金

市は6月17日、下妻市アマチュアゴルフ連盟(栗原茂雄会長)から「市のスポーツ振興に役立ててほしい」と106,691円を寄付いただきました。

この寄付金は、アジア下館カントリー倶楽部で5月28日、同連盟主催による「令和元年度下妻市民ゴルフ大会」の参加者213人から寄せられたチャリティ募金によるものです。



左から小林副会長、栗原会長、菊池市長

障害福祉 問 福祉課 ☎43-8352 FAX43-6750

## みんなで助け合う社会の実現を目指して、ヘルプマーク・ヘルプカードを配布開始

市は、障害の有無や社会的な背景などに関係なく、すべての人が社会の一員として包まれ支え合い、共に生きる社会を目指し、さまざまな取り組みを進めています。外見では障害などがあると分からなくても援助や配慮を必要とされる方が、周囲の方の援助を得やすくなるよう、ヘルプマーク、ヘルプカードの配布を6月3日から市役所福祉課(第二庁舎1階)で開始しました。

ヘルプマークを身に着けた方を見かけた場合は、電車・バス内で席をゆずる。困っているようであれば声をかけるなど、思いやりのある行動をお願いします。

### ヘルプマーク

ヘルプマークを知っていますか?  
援助や配慮が必要な方のためのマークです。

使い方

▲着用には十分な配慮をお願いします

義足や人工関節を使用している方、内部障害や難病の方、妊娠初期の方など外見からわからなくても援助や配慮を必要としている方々が、周囲の方に配慮を必要としていることを知らせることで、援助を得やすくなるよう、作成したマークです。

### ヘルプカード

あなたの支援が必要です。

ヘルプカード

茨城県

障害や病状の名称(詳細は不要)	住所
氏名	性別
生年月日	電話番号
緊急連絡先	緊急連絡先

【私が手伝って欲しいこと】

カードの持ち主が困っているときや緊急の際には、カードの内容を見て下さい。

障害などのある人が困った時に、周囲の方に配慮や手助けをお願いしやすくするための情報を伝えるためのカードです。ヘルプカードの提示がありましたら、記載されている内容にそって支援をお願いします。

## どこでも市長室でいただいた提案の一部と市の対応

(※実際の意見交換は、対面・口頭で行います。)

小学生のランドセルが重いので、事故防止のため、勉強道具を学校に置いていけるように「置き勉」を勧めてみては!

小学校を通じ、昨年11月に「置いて帰ってもよい教材などの一覧」を保護者の方にお伝えし、携行品が少なくなるようにしました。

マイ・タイムラインの講座を小学校で受けましたが、各家庭でも作って見ては!

6月23日の防災訓練では、私が講師になり、実際に参加者に作ってもらいました。マイ・タイムラインの作成講座の受講を希望する場合は、市役所消防交通課までお問い合わせください。

共働き世帯では、子どもが病気の時に仕事を休めない人もいます。病児保育を行って見ては!

病気または病気の回復期のため、保育園などに通園できないお子さまを病院などの専用スペースで一時的に保育する「病児保育事業」について、10月から、茨城県西部メディカルセンター病児保育室「ひまわり」にて実施予定です。

子どもが小さい時は、悩みが出てきます! 妊娠した時から子育てまでをコーディネートしてくれる人がいるといいな!

安心して子育てできる環境を目指し、妊娠・出産・子育て期における相談窓口として「下妻市子育て世代包括支援センター」を10月から保健センター内に開設します。

## どこでも市長室(一部)

①開催日 ②団体名 ③意見交換のテーマ



- ①平成30年9月26日
- ②交通安全母の会 下妻支部
- ③通学路の危険箇所・交通安全対策など



- ①平成31年2月27日
- ②下妻エコの会リポーン
- ③ごみの減量化・エコ生活の推進



- ①平成31年4月27日
- ②騰波ノ江地区区長社協連合会
- ③騰波ノ江地区の防災など

## 『どこでも市長室』の申込団体を募集します!

「こんなまちになったらいいな!」「こんなことをやってみたら?」など、地域で活躍している団体の皆さんからの提案をもとに、市長と意見交換しませんか? 市民が主役のまちづくりを進めるため『どこでも市長室』の申込団体を募集します。開催を検討している場合は、市役所市民協働課までお問い合わせください。

### ◆対象となる団体

市内在住・在勤などの10人以上で構成される市民団体・自治会・グループなど

### ◆開催日時(※意見交換のテーマを決めて、開催日の1カ月前までに、お申し込みください)

- 開催日は、申込団体と協議の上、決定します。(※議会開会中および年末年始の期間を除く)
- 時間は、午前9時から午後8時までとし、おおむね60分程度を予定しています。

